

消費者相談の事例から

健康食品???

強引な電話勧誘



No. 161

テレビ、雑誌、新聞、インターネットなどで広告を目にしない日はないくらいさまざまな種類の健康食品（サプリメント等）が世の中に溢れています。

「有名人が使っている」「病気が良くなった」「痩せた」等のように文句についてひきこまれていませんか。売り方も、テレビ、ネット等による通信販売、置き薬屋等の訪問販売、突然の電話勧誘販売、知人、友人から勧められる紹介販売（マルチ商法）、エステ業者による販売等々さまざまあります。



強引な電話勧誘

No. 161



も相談したが、やはり申し込んでいないと思う。業者名も連絡先もわからないがどうしたらよいか。
消費生活センターより
連絡先が分からないため、商品が届いた時に、配送業者に事情を伝え、業者の名前、住所、電話番号を聞き、書きとめるよう助言しました。その上で、代金は支払わず、商品は持ち帰ってもらおうよう（受取拒否）話しました。同時に、ハガキでクーリング・オフの通知を出しておくよう伝えました。センターから業者に連絡を入れ、相談を終了しました。

最近、相談が増えている電話による健康食品の送りつけ商法の事例を紹介します。
突然「三カ月前に申し込まれた健康食品の準備ができたので送ります」と電話があった。身に覚えがないと断ると「確かに申し込んでいます。録音も残っている」というので不安になり配達を了承してしまった。電話を切った家族に



文芸コーナー

俳句

松風や寄せる波音夏近し

高橋 良昌

梅雨明けて母の手借りる土用千し

今田 秀子

夏の風あじさいの里あざやかに

中山 重平

短歌

潮の香の漂う林その奥に

一輪だけ咲く山百合の花

山本 明美

川柳

思い出を繋ぎ合せて母といふ

吉野 千枝子

子も巣立ちベットにチワワ目がウルル

高橋 由紀子

繁盛の店へ鮮度を買に行き

風間 敬造

四季咲きの思考回路がオフのまま

福田 研治

倦怠期留守が癒しと思ひ込み

藤橋 由裕

庇い合う余生へ妻と虹を追ひ

道譯 賢一

家を出て行くこと忘れまた戻る

横田 清

●偶数月は「俳句・短歌・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。

●投稿は楷書でお願いします。

※俳句、短歌、川柳の原稿送付先

〒297-8511 茂原市道表1番地 茂原市役所秘書広報課宛「文芸コーナー」と朱書きしてください。